

透析センターオープンで勉強会

透析の患者様対応学ぶ・看護部

城西病院2階に5月7日、透析センターがオープンしました。センターのオープンに伴い、看護部では12日に、透析の勉強会を開きました。

透析センターから、透析を行うために治療が行いやすいように血管を手術するシャントや人工管内シャント、血管につなぐためのカテーテルなどの術式について説明しました。

その後、シャントを中心にした日常生活の注意点を説明。透析後の感染予防や、治療後の止血法、などシャント管理に関する患者様への指導内容を説明しました。

勉強会では、看護師から「患者様の水分管理について、どのように指導していけばいいのでしょうか?」、「透析の患者様のリハビリでの注意点やリハビリ中のシャントの扱いはどうすればいいのでしょうか?」など、熱心に質問していました。

これまで、一般病棟などで透析の患者様を受け入れていましたが、今後は病院内に透析センターが開設され、療養病棟や回復病棟での透析の患者様の増加が予想され



ることから、看護部主催の勉強会を開催しました。

藤田尚代看護部長は「透析の患者様はいたが、人数は少なかった。透析センターが開設され、今後は透析の患者様の増加が予想されます。看護部でも初めてのかかわりという看護師もいて、透析センターの人と勉強しながら一つ一つかかわっていきたいです」と話していました。

平成26年6月20日



透析について真剣に勉強する看護師たち



5月7日にオープンした透析センター